

2012年10月16日  
株式会社モビリティランド  
鈴鹿サーキット



## 2012 FIA 世界ツーリングカー選手権シリーズ日本ラウンド WTCC JVC KENWOOD Race of Japan

# 10/20 予選 SAT. 21 決勝 SUN.

会場:鈴鹿サーキット国際レーシングコース(東コース 2.243km)

同日開催:スーパー耐久シリーズ2012 第5戦(フルコース 5.807km)



## WTCC

### 来年からのフル参戦を前に新型Hondaシビックがついに鈴鹿でデビュー！ 実力派ティアゴ・モンテイロの移籍も決定！！

WTCCは鈴鹿サーキットでの日本ラウンドを控え、ふたつの大きな話題が世界の注目を集めた。ひとつは日本ラウンドからワークス活動を開始するHondaシビックがチーム体制を発表したこと。フル参戦となる2013年からガブリエーレ・タルクイーニとティアゴ・モンテイロがシビックをドライブすることになったのだ。ともにF1グランプリの出場経験を持ち、日本でも馴染みの深いドライバーと同時にタルクイーニは09年のチャンピオンだけに実力は折り紙つき。必ずやHondaをトップコンテNDERへと昇華させてくれるに違いない。

そして、シビックデビューレースとなる日本ラウンドから、モンテイロの合流が決定！ シーズン中の移籍は極めて異例だが、それもシビックの高い可能性を感じ取り、いち早く実戦の中で戦闘力を高めたいという決意の表れに違いない。



鈴鹿でデビューするHondaシビック

### 原点は鈴鹿サーキットシルバーカップレース！

### 38年の時を経て今よみがえる！ Hondaシビック



過去に活躍したシビック  
(1984年)

1962年に完成し、今年開場50年を迎えた鈴鹿サーキットでは、これまで様々なレースを開催してきた。今回WTCCにデビューするHondaシビックの原点とも言えるレースも鈴鹿から始まった。63年に第1回日本グランプリレースが開催されると、68年から鈴鹿シルバーカップシリーズがスタート。これからレースを目指す若者が数多く参加し、様々なクラスで熱戦が繰り広げられた。後に日本人初のF1レギュラードライバーとなった中嶋悟氏も、レースデビューは1973年の鈴鹿シルバーカップだった。そのメインと言えるのがTSレースで1970年代前半に登場したニッサン・サニー、トヨタ・スターレット、そしてHondaシビックが激しい戦いを展開したのだ。国内初のワンメイクレースもシビックによって行われ、85年から始まったJTC(全日本ツーリングカー選手権)でもシビックは大活躍。その後もスーパー耐久シリーズなどで常勝マシンとして活躍。その血統がWTCCへと受け継がれたわけだ。1974年にサーキットに初登場した初代シビック以来38年。新型シビックが原点の地、鈴鹿をどう攻め込むのか、まさに世界が注目する戦いとなった。

## WTCC最強マシン、シボレー・クルーズ撤退！有終の美を飾る鈴鹿ラストランに注目！！



シボレー・クルーズ(手前3台)

もうひとつのトピックは長年にわたってWTCCに参戦し、近年は圧倒的な強さを誇ったシボレーが、撤退を発表したこと。最強マシンとして誉れ高いシボレー・クルーズの激走は、日本においては今大会が最後となる。現在3年連続のマニファクチャラーズチャンピオン獲得に向けて慕進中で、撤退発表にも悲壮感はなく、むしろ有終の美を飾ろうと、モチベーションはかつてなかったほど高まっている。鈴鹿で過去最高の走りを披露してくれるはずだ。いずれにせよ、鈴鹿日本ラウンドが来季勢力図の変化を占う一戦になることは間違いなく、シボレー勢にBMWやセアト勢が一矢報いるべく全力を尽くすのは必至。もちろんHondaシビックのデビューウインも決して夢ではない。記録だけでなく記憶に残る戦いになるはずだ。

## 見る側を決して飽きさせないレース規定、マシン修復のすご技、そして東コース全周に渡る大接戦バトル！！

WTCCは世界選手権の名称が示すとおり、世界の主要サーキットを舞台として全12ラウンドで開催される。1日に2回の決勝レースが行われ、レース距離は50～60kmの超スプリント。第2レースは予選2回目の上位10位がリバースグリッドになったり、第1レースはローリング、第2レースはスタンディングとスタート方式に変化をつけるなど、随所に見飽きさせない工夫がされている。また2レースは連続して行われ、短いインターバルの間のピット作業も、実は見どころのひとつだ。

「格闘技レース」と呼ばれるだけあって、常に超接近戦が繰り広げられ、少々の接触など当たり前で、マシンのダメージをメカニックが修復していく様子は、まさに巧の技！よもや再出走は不可能だろう……と思えるほどでも直してグリッドに並べられた時には、拍手と大歓声が沸くほどだ。

1600ccターボエンジンが搭載されるマシンはシボレー・クルーズの他、BMW 320TC、セアト・レオン、そしてフォード・フォーカス。さらに日本ラウンドからHondaシビックが加わり、熱いバトルが繰り広げられる。

舞台となるのは鈴鹿サーキットの東コース。最大のオーバーテイクゾーンは第1コーナーだが、S字でも最終コーナーでもサイド・バイ・サイドのバトルが繰り広げられ、わずかなミスでもたちまち抜かれてしまうほどだ。

目下わずかの差でランキング上位につけるのは、イヴァン・ミュラー、ロブ・ハフ、アラン・メニューのシボレー三銃士たち。チャンピオン決定が最終戦までもつれ込むことは確実だ。シーズンは今大会を含め残り3戦。終盤の大切な1戦となる日本ラウンドは、より激しい戦いとなるだろう。



BMW 320TC



セアト・レオン



### 雪辱に燃える吉本大樹が今年もセアト・レオンで参戦！

注目の日本人ドライバーは吉本大樹がセアト・レオンで、加納政樹がBMW320TCで参戦する。吉本は今大会からHondaをドライブすることになったT・モンテイロのマシンを引き継ぐ形での参戦で、成熟の進んだマシンを使用する。

鈴鹿ラウンドだけのスポット参戦とはいえ、誰よりも走り込んだコース。その攻め方も熟知している。昨年はスタートの混乱に巻き込まれレース1はリタイヤ、レース2も17位と、悔しい思いをした。雪辱に燃える吉本が、どんな戦いを見せてくれるか注目だ。

## スーパー耐久

### 第4戦で近藤真彦監督率いるGT-Rが優勝！ 王者メルセデスとの対決が注目されるGT3クラス

スーパー耐久のメインとなるGT3クラスは開幕戦からメルセデスSLS AMGのPETRONAS SYNTIUM TEAMの1台、谷口信輝組が4連勝を飾り、もう1台である片岡龍也組が2位を3回と、メルセデス勢が強さを発揮している。しかしBMW Z4の阿部翼組は第3戦でメルセデスの一角を崩し2位を記録。マレーシア・セパンサーキットと岡山国際サーキットの選択制となった第4戦の岡山戦では、メルセデス不在の中、今季第2戦から登場した近藤真彦監督率いるニッサンGT-Rの藤井誠暢組がBMWを下し優勝と、早くも混戦模様。鈴鹿ラウンドが接戦となるのは間違いなさそうだ。



メルセデスSLS AMG



BMW Z4



ニッサンGT-R

### ST-1クラスはBMW、Zの対決！

3500cc以上の車両によるST-1クラスはBMW Z4Mクーペ、ニッサン・フェアレディZが参戦。シリーズ第4戦で堀主知ロバート組Z4Mが今季2勝目を飾ったが、峰尾組のフェアレディZも1勝を記録しており、まさに大混戦。鈴鹿で誰が抜け出すか注目だ。



ニッサン・フェアレディZ



BMW Z4Mクーペ

### ランサー軍団にインプレッサが挑むST-2クラス。混戦模様のST-3クラス

2001cc以上3500cc以下の四輪駆動車によって争われるST-2クラスは、新旧の三菱ランサーエボリューションが大半を占め、開幕から4連勝を飾っている。しかし開幕戦で2位を記録したスバル・インプレッサ。第5戦での逆襲に注目だ。

ST-2クラスと同じ排気量域ながら、二輪駆動車によって争われるST-3クラスはフェアレディZ、マツダRX-7、Honda NSX、レクサスIS350、GS350と実に多彩な車種が参戦して接戦を繰り広げている。開幕からZの佐々木雅弘組が2連勝を飾ったものの、第3戦で小松一臣組RX-7、第4戦では吉本大樹組GS350が優勝するなど、このクラスも混戦模様だ。



ST-2 インプレッサ



ST-2 ランサーエボリューション



ST-3 フェアレディZ

## ST-4クラスはHonda勢にトヨタ86が挑む！ ヴィッツ対フィットのST-5

1501cc以上2000cc以下のST-4クラスはインテグラ、S2000、シビックのHonda車同士の争いにトヨタ86が加わったが、Honda勢の牙城を崩すには至らずランキング上位は浅野武夫組インテグラ、塩谷烈州組インテグラ、藤村政樹組S2000、野間一組シビックが占めている。この上位陣にトヨタ86がどう挑むのかが見どころだ。

1500cc以下の車両によるST-5クラスはトヨタ・ヴィッツ、Hondaフィットの対決が続いているが、マツダ・デミオが徐々に速さを増しており、鈴鹿では、三つ巴の争いが期待されている。



ST-4 インテグラ



ST-5 フィット

## 1時間×2レースで開催のスーパー耐久。スプリントの要素が加わった新しいレース展開に注目！

スーパー耐久は変則スケジュールで開催される。通常は3時間、もしくは4時間で争われるが、鈴鹿ラウンドは1時間×2レースで争われることになった。各レース給油は禁止されるものの、タイヤ交換とドライバー交代は義務づけられるため、必ずピット作業を行わなければならない。通常とは違ったペース配分が必要とされ、耐久と言いつつもスプリント色の強いレースとなる可能性がある。そのため極めて混迷度の高い戦いになりそうだ。



ピット作業(※イメージ)

### WTCC開催概要

- 大会名称：2012 FIA 世界ツーリングカー選手権シリーズ 日本ラウンド WTCC JVC KENWOOD Race of Japan
- 主催：【プロモーター】株式会社モビリティランド  
【オーガナイザー】鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 会場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース 東コース(1周:2.243km)

### スーパー耐久開催概要

- 大会名称：スーパー耐久シリーズ2012 第5戦
- 主催：名古屋レーシングクラブ(NRC) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド
- 公認：一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 会場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース フルコース(1周:5.807km)

## チケット好評発売中！

スタート直後のバトルを目の前で見れる第2コーナー(B席)にビジョンを設置！

V2、V1、A、Bがエリア席に！

前売観戦券はゆうえんちモトピアパスポート(土曜日・日曜日いずれか1日)付き！

ご家族みなんでお得に観戦！「ファミ得チケット」

お友達を誘って観戦しよう！グループチケットで最大20%オフ！

[価格はすべて税込]

### ■前売券

観戦券(2日間有効)※10月19日(金)も入場可		
大人	中・高校生	
ゆうえんちモトピアパスポート1日付	入場のみ	
5,000円	1,600円	

グループチケット(2日間有効)※10月19日(金)も入場可		
ゆうえんちモトピアパスポート1日付		
3名	4名	5名
13,500円	17,000円	20,000円

エリア券(日曜日のみ有効)※別途観戦券が必要です	
V2・V1・A・Bエリア(大人)	
1,000円	

※高校生以下の方はV2・V1・A・Bエリアへ無料でご入場いただけます。

ファミリーでお得に観戦！ファミ得チケット(MOBILITY STATIONのみで限定販売！)

ファミ得チケット(2日間有効) ※10月19日(金)も入場可	観戦券セット	エリア券セット V2・V1・A・Bエリア(大人) (エリア券は日曜日のみ有効)
	ゆうえんちモトピアパスポート1日付	
大人2人+子ども1人(3歳～高校生)	11,400円	13,000円
大人2人+子ども2人(3歳～高校生)	13,600円	15,200円

### ■当日券

	観戦券	V2・V1・A・Bエリア券 ※別途観戦券が必要です
	大人	
10月20日(土)予選日	ゆうえんち入園料(1,600円)	
10月21日(日)決勝日	6,000円	ゆうえんち入園料(1,600円) 1,500円

当日販売場所: GPレセプション、グランドスタンド特設チケットカウンター、BスタンドチケットBOX、パノラマ入口チケットカウンター

※ファミ得チケットはMOBILITY STATIONのみの限定販売となります。

※3歳～高校生以下の方の当日券はゆうえんち入園料となります。中高生/1,600円・小学生/800円・3歳～未就学児/600円

※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。

※エリア券は決勝日のみ有効です。

※高校生以下の方はV2・V1・A・Bエリアへ無料でご入場いただけます。

※V2・V1・A・Bエリアに席番の指定はありません。

※自由席、エリア席の一部には、団体専用席、メーカー・チーム応援専用席、シーズンシートがあらかじめ区画されている場合がありますのでご了承ください。

## ■パドックパス(2日間有効・別途観戦券必要)

[価格はすべて税込]

有名選手に会えるかも！？ピット裏のパドックライフを楽しもう！

土曜日、日曜日のピットウォークに参加でき、さらには第1コーナー、第2コーナー、S字、東コースショートカットイン側に設けられた激感エリアにも入場できる！

パドックパス <大人(中学生以上)>	パドックパスJr <子ども(3歳~小学生)>
10,000円	1,500円

当日販売場所: GPレセプション、グランドスタンド特設チケットカウンター



第2コーナー激感エリアの様子

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。

※ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)およびホスピタリティテラス(ピットビル3階)にはご入場いただけません。

※V2・V1・A・Bエリアにはご入場いただけません。

※前売りパドックパス完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

## ★ご入場エリア

・パドック ・ピットウォーク ・激感エリア

## ★特典

鈴鹿サーキットロゴ入りストラップがセットになった特製プラスチックパドックパスを限定販売します。

●パドックパスのカードフェイスは、公式ポスターをイメージしたデザイン。

●鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。

●パドックパスにはシリアルナンバーがついています。

※前売りにてご購入の方には、必ず特製カード型パドックパスをお渡しします。

※パドックパスJrは特製カード型パドックパスではありません。

## ■ピットウォーク券(別途観戦券必要)

レーシングマシンをもっと間近でみたい！マシンやドライバーを撮影したい！お昼のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加ください。小学生以下のお子様は無料でご参加いただけます。

	ピットウォーク券	
	大人(中学生以上)	子ども
10月20日(土)予選日	2,000円	無料
10月21日(日)決勝日	2,000円	

当日販売場所: ピットウォーク券売所、GPレセプション、グランドスタンド特設チケットカウンター

※ピットウォーク時に、脚立のお持込はご遠慮ください。



※写真はイメージです

## ■ホスピタリティテラス(2日間有効/観戦券、V2・V1・A・Bエリア入場券込)

ピットビル3階からご観戦いただけるホスピタリティテラスは、自然光を活かし、開放的な空間とするために壁を設置せずに、コースが見渡せる場所となります。2階席のホスピタリティラウンジ同様にテラス席をご用意しております。

ホスピタリティテラス (中学生以上)	ホスピタリティテラスJr. (3歳~小学生以下)
ゆうえんちモトピアパスポート1日付	入場のみ
18,000円	2,800円

## ★ご観戦エリア

・ホスピタリティテラス(ピットビル3階)

## ★特典

●レース観戦券込パス(ゆうえんちモトピアパスポート1日付)※Jrにはつきません

●パドック入場可(2日間対象)

●V2・V1・A・Bエリア入場可

●ピットウォーク(2日間対象)

●レースリザルトサービス(ブース内設置)

●激感エリア入場可



ホスピタリティテラス  
バルコニー席からの眺め

※ホスピタリティテラスは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※レース観戦券に付随のゆうえんちパスポートはレース開催日(土・日)のいずれか1日有効となります。

※お申し込み後のキャンセルは一切できません。

※貸切でのご利用やイベント利用等でご利用いただけないエリアがある場合がございますので、予めご了承ください。

■～プライベートな空間でレース観戦～ **パノラマルーム** ※別途観戦券が必要です [価格はすべて税込]  
 パノラマルームはグランドスタンド最上段のプライベート空間。冷暖房完備の個室で、周囲を気にせずゆったりとご観戦いただけます。サーキットビジョンを見ながらの観戦やコースを回る観戦のベースキャンプにも、またお子様連れのご家族にもおすすめです。

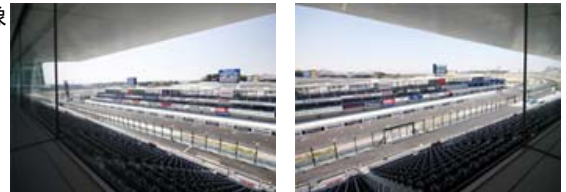
<b>パノラマルーム</b> (1室料金) 4名様(プラスお子様2名様)まで利用可 <b>30,000円</b>
--

当日券販売場所:パノラマ入口チケットカウンター

★**ご観戦エリア** パノラマルーム(グランドスタンド最上段のプライベート空間)

★**設備内容** ●モニター×1台(26インチ液晶) ※レース映像のみ受像  
 ●テーブル×1台 ・イス×6脚 ●冷暖房完備  
 ●居室面積9.9㎡(全室禁煙)

★**特典** ピットウォーク券付き



■**ホスピタリティラウンジ**(2日間有効)

ピットレーンに張り出した屋外観戦席も楽しめる。快適で迫りに満ちた観戦をご提供いたします。

**観戦券をお持ちの方対象に、当日アップグレード販売いたします**

ホスピタリティラウンジ	ファミリーラウンジ (中学生以上)	ファミリーラウンジJr. (3歳～小学生以下)
<b>当日アップグレード価格</b> <b>24,500円</b>	<b>当日アップグレード価格</b> <b>24,500円</b>	<b>当日アップグレード価格</b> <b>7,200円</b>

アップグレード販売場所:GPLセクション、グランドスタンド特設チケットカウンター

※ファミリーラウンジはご家族でご観戦のお客様皆様の共有ラウンジです。ご家族単位でのお部屋ではございません。なお大人のお客様だけのご利用は出来ません。  
 ※観戦券をお持ちでない場合は、入場ゲートにて観戦券を購入いただき、GPLセクションにてアップグレードをご利用いただけます。  
 ※パドックパスからのアップグレードも可能です。詳しくはGPLセクションおよびグランドスタンド特設チケットカウンターにてご案内させていただきます。



★**特典**

- 園内をご利用いただけるお食事ご利用券
- フリードリンク(2日間対象)(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券(専用駐車エリア)※Jrにはつきません
- 大会公式プログラム※Jrにはつきません
- ホスピタリティテラス入場可(2日間対象)
- パドック入場可(2日間対象)
- ピットウォーク(2日間対象)
- 激感エリア入場可
- V2・V1・A・Bエリア入場可
- レースリザルトサービス(ブース内設置)

※特典の駐車券は駐車エリアにご入場いただく際、ホスピタリティラウンジパスとあわせてご提示が必要になります。

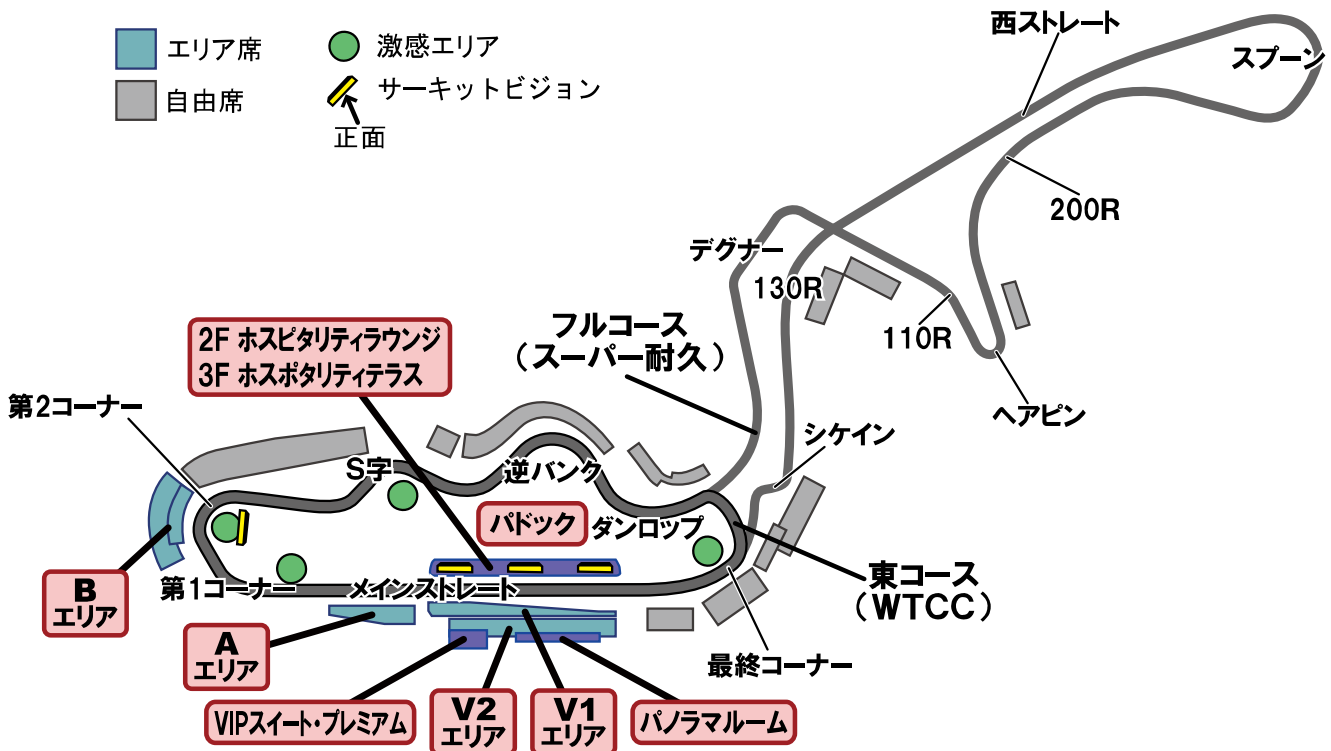
※ホスピタリティラウンジは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※室内へ飲食物のお持ち込みは出来ませんので予めご了承ください。

※屋外観戦席は各お部屋前が指定エリアとなります。ご自身のお部屋の前以外での屋外観戦は出来ません。

※貸切でのご利用やイベント利用等でご利用いただけないエリアがある場合がございますので、予めご了承ください。

## 観戦席マップ



チケットのお求めは		券種によってお取り扱いのない窓口もございます
<b>■オンラインショッピングサイト (MOBILITY STATION)</b> P C <a href="http://mls.mobilityland.co.jp">http://mls.mobilityland.co.jp</a> モバイル <a href="http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/">http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/</a> (鈴鹿サーキット オンラインショッピングサイト)	<b>【取扱券種】</b> 観戦券(大人・中高生・グループ) / ファミ得チケット(観戦券セット) ※クレジットカードでの事前精算、チケット現地渡しにて 10月19日(金)16:00まで受付いたします。	
<b>■窓口での販売</b> (鈴鹿サーキットモビリティステーション) 10月20日(土)まで ※営業時間10:00~17:00	<b>【取扱券種】</b> 観戦券(大人・中高生・グループ) / ファミ得チケット(観戦券セット) エリア券 / ホスピタリティテラス / パドックパス / 駐車券	
<b>■プレイガイド・コンビニエンスストア</b> 販売期間: 10月20日(土)まで販売 ※一部販売期間が異なる店舗がございます ●ローソンチケット ●イープラス ●電子チケットぴあ ●ツインリンクもてぎチケットセンター ●ローソン ●セブンイレブン ●ファミリーマート ●サークルK・サンクス ●チケットボード(ケータイ電子チケット) ※コンビニには時間帯に制約があります。 ※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。		
※V2・V1・A・Bエリア、ホスピタリティテラス、パドックパスは、ローソン・ローソンチケットのみでの取り扱いとなります。		
鈴鹿サーキット プロモーションパートナー <b>LAWSON</b>		

チケットに関するお問い合わせ: 鈴鹿サーキットモビリティステーション ☎059-378-1111(代)